

発行日 2016年10月28日

## 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : エア・ベール Mサンジングスプレー  
製品種類 : 硝化綿塗料  
用途 : 室内木部補修用  
会社名 : 株式会社ベスコ  
住所 : 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町 1-2-8  
担当部門 : 技術  
電話番号 : 048-468-7163 FAX : 048-468-7190  
管理番号 : 30103-36

## 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性/引火性エアゾール : 区分 1

引火性液体 : 区分 2

健康に対する有害性

急性毒性吸入 : 区分 2

皮膚腐食性/刺激性 : 区分 3

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 2

生殖毒性 : 区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分1

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分2

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分3 (気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分3 (麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分2

環境有害性

水生毒性-急性 : 区分 3

水生毒性-慢性 : 区分 3



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

極めて可燃性/引火性の高いエアゾール

飲み込むと有害の恐れ

吸入すると生命に危険

軽度の皮膚刺激

強い眼刺激

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

単回暴露により臓器の障害

長期または反復暴露により臓器の障害

飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

水生生物に有害

長期的影響により水生生物に有害

物理的及び化学的危険性

非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

想定される非常事態の概要

高圧の引火性ガスが入っている。加熱・衝撃等により破裂する危険性がある

発行日 2016年10月28日

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物質

成分名	含有量	C A S No.	化管法政令 番号
ニトロセルロース	5-10	9004-70-0	
メチルシクロヘキサン	10-15	108-87-2	
メタノール	1-5	67-56-1	
イソプロピルアルコール	5-10	67-63-0	
酢酸エチル	10-15	141-78-6	
酢酸ブチル	20-25	123-86-4	
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	1-5	108-65-6	
エチレングリコールモノターシャリブチルエーテル	1-5	7580-85-0	
ジメチルエーテル	50-60	115-10-6	
ステアリン酸亜鉛	1-5	557-05-1	
メチルエチルケトン	1-5	78-93-3	
イソブチルアルコール	1-5	78-83-1	
3メチル3メトキシブタノール	1-5	56539-66-3	

## 危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

メタノール, イソプロピルアルコール, 酢酸エチル, 酢酸ブチル, ニトロセルロース,  
ステアリン酸亜鉛, イソブチルアルコール, メチルエチルケトン, メチルシクロヘキサン

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

メタノール, イソプロピルアルコール, 酢酸エチル, 酢酸ブチル, ニトロセルロース,  
ステアリン酸亜鉛, イソブチルアルコール, メチルエチルケトン, メチルシクロヘキサン

## 4. 応急措置

## 一般的な措置

直ちに医師に連絡する。  
気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。  
特別な手当が必要である。

## 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

## 皮膚に付着した場合

皮膚(または毛)にかかった場合: 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ捨て流水/シャワーで洗う。  
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当を受ける。

## 目に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。  
目の刺激が続く場合: 医師の診断/手当を受ける。

## 飲込んだ場合

無理に吐かせてはならない。  
直ちに医師に連絡する。

## 5. 火災時の措置

## 適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

適切な保護具を着用する。  
着火源を取除くとともに換気を行う。  
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

発行日 2016年10月28日

## 環境に対する注意事項

- 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
- 回収、中和 ならびに 封じ込めおよび浄化の方法/機材
- 掃き集めて、容器に回収する。
- 多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

---

---

7. 取扱いおよび保管上の注意

## 取扱い

## 技術的対策

(取扱者の暴露防止)

- 粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
- 指定された個人用保護具を使用する。
- 熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざける。ー禁煙。
- 容器を接地する/アースをとる。
- 火花を発生させない工具を使用する。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずる。

## 安全取扱い注意事項

- 使用前に取扱い説明書を入手する。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用する。
- 保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
- 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
- 作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
- 工具は火花防止型のものを使用する。
- 静電気対策のため、装置等は設置し、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用する。
- 40℃以上の所では取り扱わない。
- 火気のある所では取り扱わない。
- 40℃以上に暖めないこと。
- 30秒以上の連続使用をしないこと。
- 噴射を連続すると、凍傷や炎症を起こす恐れがある。

## 配合禁忌等、安全な保管条件

## 適切な保管条件

- 施錠して保管する。
- 換気の良いところで保管する。容器を密閉する。
- 換気の良いところで保管する。涼しい所に置く。
- 火気、熱源から遠ざけて保管する。
- 40℃以上の所で保管しないこと。
- 水周りや湿度の高い所に保管すると容器が腐食して破裂のおそれがあるので保管場所に注意すること。

---

---

8. ばく露防止及び保護措置

## 管理指標

## 管理濃度

- (酢酸ブチル)  
作業環境評価基準 (2012) <=150ppm
- (酢酸エチル)  
作業環境評価基準 (2004) <=200ppm
- (メタノール)  
作業環境評価基準 (1995) <=200ppm
- (イソプロピルアルコール)  
作業環境評価基準 (2004) <=200ppm
- (イソブチルアルコール)  
作業環境評価基準 (1995) <=50ppm
- (メチルエチルケトン)  
作業環境評価基準 (1995) <=200ppm

## 許容濃度

- (メチルシクロヘキサン)  
日本産衛学会 (1986) 400ppm;1600mg/m3
- (酢酸ブチル)

発行日 2016年10月28日

日本産衛学会 (1994) 100ppm;475mg/m<sup>3</sup>  
(酢酸エチル)  
日本産衛学会 (1995) 200ppm;720mg/m<sup>3</sup>  
(メタノール)  
日本産衛学会 (1963) 20ppm;260mg/m<sup>3</sup>(皮)  
(イソプロピルアルコール)  
日本産衛学会 (1987) (最大値)400ppm;980mg/m<sup>3</sup>  
(イソブチルアルコール)  
日本産衛学会 (1987) 50ppm;150mg/m<sup>3</sup>  
(酸化チタン)  
日本産衛学会 (2013) 0.3mg - ナノ粒子/m<sup>3</sup>  
(メチルエチルケトン)  
日本産衛学会 (1964) 200ppm;590mg/m<sup>3</sup>  
(酢酸ブチル)  
ACGIH(1995) TWA: 150ppm  
STEL: 200ppm (眼および上気道刺激)  
(酢酸エチル)  
ACGIH(1979) TWA: 400ppm (上気道および眼刺激)  
(メタノール)  
ACGIH(1992) TWA: 200ppm  
STEL: 250ppm (皮膚;頭痛;眼障害)  
(イソプロピルアルコール)  
ACGIH(2001) TWA: 200ppm  
STEL: 400ppm (眼および上気道刺激;中枢神経系損傷)  
(メチルエチルケトン)  
ACGIH(1992) TWA: 200ppm  
STEL: 300ppm (上気道刺激;中枢および末梢神経系損傷)  
(イソブチルアルコール)  
ACGIH(1987) TWA:50ppm(皮膚および眼刺激)  
(ステアリン酸亜鉛)  
ACGIH(1985) TWA (10mg/m<sup>3</sup>) (上気道、眼及び皮膚刺激)  
注釈 (症状、摂取経路など)  
(メタノール)  
皮膚呼吸

#### 設備対策

取扱い設備は防爆型を使用する。  
排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。  
液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースをとるように設備すること。  
取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とすること。

#### 保護具

##### 手の保護具

保護手袋を着用する。

##### 目の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

##### 皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

#### 衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗う。  
この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状态

形状 :液体

色 :乳白色

臭い :溶剤臭物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点 :<35 °C(塗料液)

引火点 :4°C(塗料液)

発行日 2016年10月28日

自然発火温度 :385℃  
比重/密度 :0.962  
水に対する溶解度 :適用外

---

## 10. 安定性及び反応性

### 安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

---

## 11. 有害性情報

物理的、化学的および毒性学的特性に関係した症状

### 急性毒性（経口）

[日本公表根拠データ]

(メチルシクロヘキサン)

mouse LD50=1200mg/kg (RTECS 2005)

(3メチル3メトキシブタノール)

rat LD50=4400mg/kg(OECD TG401;GLP) (SIDS Access on May 2012)

(メタノール)

human LD50=ca.1400mg/kg (DFGOT vol.16 2001)

(イソプロピルアルコール)

rat LD50=5480mg/kg (EHC 103, 1990)

(イソブチルアルコール)

rat LD50=2596mg/kg(cal.)

(メチルエチルケトン)

rat LD50=2737mg/kg (環境省リスク評価第6巻, 2008)

### 急性毒性（経皮）

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

区分外 rabbit LD50=15800mg/kg(DFGOTvol16, 2001)

(イソプロピルアルコール)

rabbit LD50=12870 mg/kg (EHC 103, 1990)

(イソブチルアルコール)

rabbit LD50=2460 mg/kg (SIDS, 2004)

### 急性毒性（吸入）

[日本公表根拠データ]

(酢酸エチル)

vapor : rat LC50=13856 ppm/4hr (ACGIH, 2001)

(メタノール)

区分外 vapor : rat LC50>31500 ppm/4hr (DFGOTvol.16, 2001)

(イソブチルアルコール)

vapor : rat LC50=6336 ppm / 4hr (SIDS, 2004)

(メチルエチルケトン)

vapor : rat LC50=11700 ppm/4hr (PATTY6th, 2012)

### 労働基準法 疾病化学物質

酢酸ブチル; 酢酸エチル; メタノール

### 局所効果

#### 皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]

(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート)

ラビット 軽度から中等度の刺激性 (SIDS, 2003)

(メチルシクロヘキサン)

ラビット 軽度な刺激性 (RTECS, 2005)

(イソブチルアルコール)

ヒト 軽度な発赤 (ACGIH 7<sup>th</sup> 2001et al (メチルエチルケトン)

ラビット 中等度の刺激性 (SIDS, 2011et al)

(3メチル3メトキシブタノール)

ラビット 中等度の刺激性 (SIDS, (Access on May. 2012))

発行日 2016年10月28日

## 眼に対する重篤な損傷・刺激性

- [日本公表根拠データ]
- (プロピレングリコールメチルエーテルアセテート)
- ラビット 軽度から中等度の刺激性 (SIDS, 2003)
- (メチルシクロヘキサン)
- ラビット 軽度な刺激性 (RTECS, 2005)
- (酢酸ブチル)
- ラビット 48時間後に回復 (SIDS, 2009)
- (酢酸エチル)
- ラビット Draize test MMAS=15.0 (ECETOC TR48, 1998)
- (メタノール)
- ラビット 区分2: Draize test (EHC196, 1997)
- (イソプロピルアルコール)
- ラビット (PATY 6<sup>th</sup>, 2012 et al)
- (イソブチルアルコール)
- ヒト 角膜の変化 (DFGOTvol19, 2003)
- (メチルエチルケトン)
- ラビット 重度の刺激 (SIDS, 2011 et al)

## 感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

## 発がん性

- (イソプロピルアルコール)
- IARC-Gr. 3 ; ヒトに対する発がん性については分類できない。
- (イソプロピルアルコール)
- ACGIH-A4(2001) : ヒト発がん性因子として分類できない
- (ステアリン酸亜鉛)
- ACGIH-A4(1985) : ヒト発がん性因子として分類できない

## 生殖毒性

- [日本公表根拠データ]
- (メタノール) cat. 1B; mouse: PATY5<sup>th</sup>, 20011
- (イソプロピルアルコール) cat. 2: PATY6<sup>th</sup>, 2012

## 催奇形性データなし

短期ばく露による即時影響、長期暴露による遅延/慢性影響

## 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

- [区分1]
- [日本公表根拠データ]
- (メタノール) 中枢神経系、視聴覚、全身毒性 (DFGOTvol16, 2001)
- (イソプロピルアルコール) 中枢神経系、全身毒性 (環境省リスク評価第6巻、2005)
- [区分2]
- [日本公表根拠データ]
- (メチルエチルケトン) 腎臓 (HSDB, 2014)
- [区分3(気道刺激性)]
- [日本公表根拠データ]
- (プロピレングリコールメチルエーテルアセテート) 気道刺激性 (SIDS, 2008)
- (イソブチルアルコール) 気道刺激性 (PATY, 4<sup>th</sup>, 1994)
- (イソプロピルアルコール) 気道刺激性 (環境省リスク評価第6巻、2005)
- (酢酸エチル) 気道刺激性 (ACGIH, 2001)
- (酢酸ブチル) 気道刺激性 (CICAD 64 2005)
- (メチルエチルケトン) 気道刺激性 (環境省リスク評価第6巻、2008)
- [区分3 (麻酔作用) ]
- [日本公表根拠データ]
- (メチルシクロヘキサン) 麻酔作用 (HSDB, 2005)
- (ニトロセルロース) 麻酔作用 (HSDB, 2003)
- (メタノール) 麻酔作用 (PATY5<sup>th</sup>, 2001)
- (イソブチルアルコール) 麻酔作用 (SIDS, 2004)
- (酢酸エチル) 麻酔作用 (ACGIH, 2001)
- (酢酸ブチル) 麻酔作用 (CICAD 64 2005)
- (メチルエチルケトン) 麻酔作用 (環境省リスク評価第6巻、2008)

発行日 2016年10月28日

(エチレングリコールモノターシャリーブチルエーテル)麻酔作用(厚労省既存化学物質毒性データベース、2013)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(メタノール)中枢神経系、視聴覚(ACGIH7th, 2001)

(イソプロピルアルコール)血液系(EHC 103 1990)

(メチルエチルケトン)神経系(ACGIH 7th, 2001)

(エチレングリコールモノターシャリーブチルエーテル)血液系(厚労省既存化学物質毒性データベース、2013)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(イソプロピルアルコール)呼吸器、肝臓、脾臓(EHC103, 1990)

吸引力呼吸器有害性データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生毒性(急性)成分データ

[日本公表根拠データ]

(ニトロセルロース)

藻類(セテナストラム) EC50=579mg/L/96hr(AQUIRE, 2003)

(メタノール)

甲殻類(ブラウンシュリンプ) LC50=900.73mg/L/24hr (EHC196, 1998)

(ステアリン酸亜鉛)

甲殻類(オオミジンコ) EC50=100mg/L/48hr (EH-RAR, 2008)

(イソブチルアルコール)

甲殻類(オオミジンコ) EC50=1250mg/L/24hr (EHC65, 1987)

(酢酸ブチル)

魚類(ファットヘッドミノー) LC50=18mg/L/96hr (CISAD64 2005)

(酢酸エチル)

甲殻類(オオミジンコ) LC50=2500 mg/L/24hr (SIDS, 2008)

(イソプロピルアルコール)

魚類(メダカ) LC50 > 100 mg/L/96hr (環境, 1997)

(メチルエチルケトン)

魚類(ニジマス) LC50 > 100 mg/L/96hr (環境省, 1996)

(メチルシクロヘキサン)

甲殻類(オオミジンコ) EC50=0.33mg/L/48hr(環境省、2006)

(エチレングリコールモノターシャリーブチルエーテル)

藻類 ErC50>866mg/L/72hr (SIDS, 2005)

水生毒性(長期間)成分データ

[日本公表根拠データ]

(イソプロピルアルコール)

甲殻類(オオミジンコ) NOEC>100mg/L/21days(環境省、1997)

(メチルシクロヘキサン)

藻類 NOEC=0.067mg/L/72hr (環境省、2006)

(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート)

19.8g/100ml(ICSC, 1997)

(メチルエチルケトン)

藻類 NOEC=93mg/L/72hr(環境省、1996)

(エチレングリコールモノターシャリーブチルエーテル)

藻類 NOEC(r)=23mg/L/72hr(環境省、2000)

水溶解度

(ニトロセルロース)

100g/100ml(PHYSPROP Database, 2009)

(メタノール) 100g/100ml(PHYSPROP Database, 2009)

(ステアリン酸亜鉛)

溶けない(ICSC, 2000)

発行日 2016年10月28日

(イソブチルアルコール)  
 8.5g/100ml (PHYSPRP Database, 2005)  
 (イソプロピルアルコール)  
 In water, infinitely soluble(25C) (HSDB, 2013)  
 (酢酸ブチル)  
 0.7 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2003)  
 (酢酸エチル)  
 8 g/100 ml (PHYSPROP Database, 2005)  
 (メチルエチルケトン)  
 29g/100ml (20 C) (ICSC, 1998)  
 (エチレングリコールモノターシャリーブチルエーテル)  
 難水溶性でない (>10g/100ml (SIDS, 2005))

## 残留性・分解性

(ステアリン酸亜鉛)  
 急速分解性がない(OECD TG 301D による28日間の分解度試験による分解度：5% (EU-RAR, 2008) )  
 (イソプロピルアルコール)  
 急速分解性があり (BODによる分解度：86% SIDS 既存点検1993)  
 (酢酸ブチル)  
 急速分解性があり (BODによる分解度：98% SIDS 2009)  
 (メチルシクロヘキサン)  
 急速分解性がなく (BODによる分解度：0% (既存点検、1986)  
 (メチルエチルケトン)  
 急速分解性があり (20日後のBODによる分解度=89% (SIDS 2011))  
 (エチレングリコールモノターシャリーブチルエーテル)  
 急速分解性がない (難分解性BODによる分解度：6% 既存点検 2001 : SIDS, 2005)  
 (3メチル3メトキシブタノール)  
 BODによる分解度：110% 既存点検 2003

## 生体蓄積性

(メタノール)  
 log Pow=-0.82/-0.66 (ICSC, 2000)  
 (ステアリン酸亜鉛)  
 log Pow=1.2 (ICSC, 2000)  
 (メチルシクロヘキサン)  
 BCF=321 (Check&Review, Japan)  
 (酢酸ブチル)  
 log Pow=1.78 (PHYSPROP Database, 2005)  
 (酢酸エチル)  
 log Pow=0.73 (ICSC, 2014)  
 (イソプロピルアルコール)  
 log Pow=0.05 (ICSC, 1999)  
 (メチルエチルケトン)  
 log Pow=0.29 (ICSC, 1998)  
 (イソブチルアルコール)  
 log Pow=0.08 (ICSC, 2005)  
 (3メチル3メトキシブタノール)  
 log Pow=0.18 (SIDS, 2005)

## 土壌中の移動性

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

オゾン層の破壊物質データなし

## 13. 廃棄上の注意 残余廃棄物

適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避ける。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

廃塗料などを焼却処理する場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。または焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。ただし、ダイオキシンなどの有害ガスが発生する恐れがある場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び処理すること。

発行日 2016年10月28日

特別管理産業廃棄物（廃油）に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

廃棄は、ガスを完全に抜いたのちに行なうこと。（噴射音がしなくなるまで）また、ガスを抜く際には、火気およびミストの吸入などについて注意する。

汚染容器および包装

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

---

#### 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 :1950

クラス :2.1(引火性ガス)

品名(国連輸送名) :塗料

指針番号 126

海洋汚染防止法

メチルシクロヘキサン

輸送の特定の安全対策及び条件

取り扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器の漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

運搬に際しては、容器を40℃以下に保ち、転倒、落下、損傷がないように注意すること。

消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められた輸送方法に従うこと。

船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空法に定めるところに従うこと。

バルク輸送におけるMARPOL条約付属書II改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Y類)

酢酸ブチル ; メタノール

有害液体物質(Z類)

イソプロピルアルコール ; 酢酸エチル ; メチルエチルケトン

---

#### 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び毒物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機則 第2種有機溶剤等

名称を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

メタノール, イソプロピルアルコール, 酢酸エチル, 酢酸ブチル, ニトロセルロース, ステアリン酸亜鉛, イソブチルアルコール, メチルエチルケトン, メチルシクロヘキサン

名称通知危険/有害物

メタノール, イソプロピルアルコール, 酢酸エチル, 酢酸ブチル, ニトロセルロース, ステアリン酸亜鉛, イソブチルアルコール, メチルエチルケトン, メチルシクロヘキサン

別表第1 危険物(第1条、第6条、第15条関係)

危険物・引火性の物(0℃, =引火点<30℃)

化学物質管理促進(P E T R)法に該当しない。

消防法

第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

化審法

優先評価化学物質

メタノール; イソプロピルアルコール、メチルエチルケトン

悪臭防止法

酢酸エチル、イソブチルアルコール

発行日 2016年10月28日

## 大気汚染防止法

有害大気汚染物質(中環審第9次答申)

ステアリン酸亜鉛

特定物質(政令第10条)

メタノール

## 水質汚濁防止法

有害物質

ニトロセルロース

法令番号26 : C100mg-(40%のアンモニア性+亜硝酸性+硝酸性)窒素/Liter

指定物質

酢酸エチル 法令番号13

ステアリン酸亜鉛 法令番号54

---

---

16. その他の情報

## 参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (3rd ed., 2009), UN

MSDS・ラベル作成ガイドブック(改訂第2版、平成24年7月)、日本塗料工業会

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 16th edit. UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (reg. (EC) No 1272/2008)

2008 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2009 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html>

JIS Z 7253 (2012年)「化学物質等安全データシート」

原材料/製品メーカーMSDS

## 責任の限定について

この情報はこの特定の材料に関するものであり、この材料が他の材料と組み合わせられたり、処理されたときは無効です。この情報を自分自身の独特な取扱いに適合させ完全で満足できるものとする責任はユーザーにあります。

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識および経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。

お客様 各位

〒351-0014 埼玉県朝霞市膝町 1-2-8

株式会社ベスコ

TEL:048-468-7163

FAX:048-468-7190

## 製品安全データシートの配布及び受領確認について

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、ご使用いただいております下記製品の「製品安全データシート (SDS)」を配布させていただきます。

労働安全衛生法の記載物質の増大への対応、化学物質管理促進法の政令で指定された化学物質への対応がされており、十分に活用いただけるものと考えております。

尚、今回配布致しました「製品安全データシート」の発行済み確認及び改訂版再交付のため、お手数ではございますが、受領いただきました方は下記の受領書に記入・捺印の上、本紙をそのまま FAX にてご返送いただきますようお願い申し上げます。

敬具

---

株式会社ベスコ 営業部 行

### 製品安全データシート受領書

製品名「エアベール Mサンジングスプレー」の製品安全データシートを受領致しました。

受領日 :

貴社名 :

御担当部門 :

御担当者名 :

電話番号 :

営業部 FAX:048-468-7190